

様式第 2 号

視察研修先	茨城県阿見町	氏名	荒 木 春 吉
視察研修項目	(1) 議会モニター制度について (2) あみ議会報告会&交流会について		
感想・所見など (1) 議会モニター制度について 1 手探りで開始したので、最初のうちは町民となかなか噛み合わず難渋したようであったが、次回からは落ち着いたとのこと。 2 モニターのなり手不足は我市も同様であり、それからの手当が大事。どうしても年輩者に偏ってしまう傾向がある。 3 ワールドカフェ方式は開催方法としてはやり易いが、壁に突き当たっている感じがあり、今後の検討が必要である。 (2) あみ議会報告会&交流会について 1 3つの常任委員会のうち、民生教育常任委員会へ意見・質問などが偏ってしまう傾向にある。 2 これまで実施してきた議会報告会は、参加者数が低迷してきたために新たな試みとして、報告会&交流会としたとのことであったが、議会への関心の低さは全国の議会での問題でもある。 3 出張議会に取り組んでいる、笥田広聴広報特別委員長の「今も悩んでいる」という言葉には、真剣さと誠実さを感じた。			

様式第 2 号

視察研修先	千葉県鎌ケ谷市	氏名	荒 木 春 吉
視察研修項目	(1) 通年議会について		
感想・所見など (1) 通年議会について - 令和元年5月より通年議会を導入しており、千葉県内の「市」で実施しているのは、鎌ケ谷市の1市のみである。 - 市長による招集が年に1回（5月）で、翌年の4月末に自然閉会となる通年議会のスケジュールとなっている。 - 通年議会の導入には2つの方法があり「定例会を年1回（1年間）とする議会」と「新たに通年の会期を制定する議会」のどちらかになるが、鎌ケ谷市は前者を採用している。 - 通年議会導入後において、これまでのところ議会運営に支障となる課題ははないということであった。 - 通年議会の導入を検討する際には、課題の抽出と解決するための方策を十分に吟味する必要がある。			